

平成31年度

発表日：平成31年4月24日

# 農作物病害虫発生現況情報（4月） 水稻編

岩手県病害虫防除所

育苗施設における病害発生状況（調査日：4月17～22日）

## 1 細菌病類

(1) 育苗施設の巡回調査では、1施設で発生が確認された（表1）。

## 2 苗立枯病

(1) 育苗施設の巡回調査では、1施設で発生が確認された（表1）。

## 3 ばか苗病

(1) 育苗施設の巡回調査では、2施設で発生が確認された（表1）。

表1 育苗施設の病害発生状況

調査地域	調査育苗 施設数	病害発生施設数		
		細菌病類	苗立枯病	ばか苗病
県中部	7	0	0	1
県南部	7	1	1	1
合計	14	1	1	2

# 農作物病害虫発生現況情報（4月） 麦 編

## 1 雪腐病

- (1) 3月～4月上旬の巡回調査では、発生圃場率、程度ともに平年より低かった（図1）。  
 (2) 地域別では、県北部で発生圃場率が高かった（図2）。

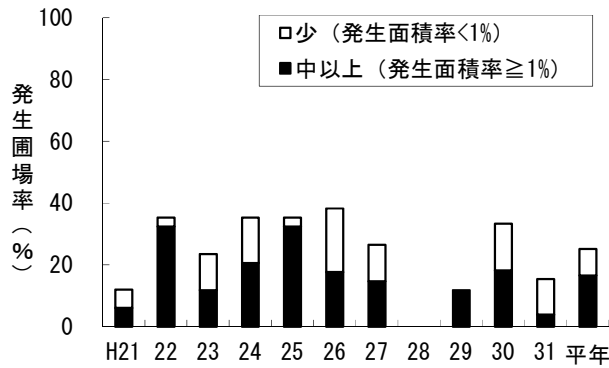


図1 雪腐病の発生圃場率の年次推移  
(3月～4月上旬)

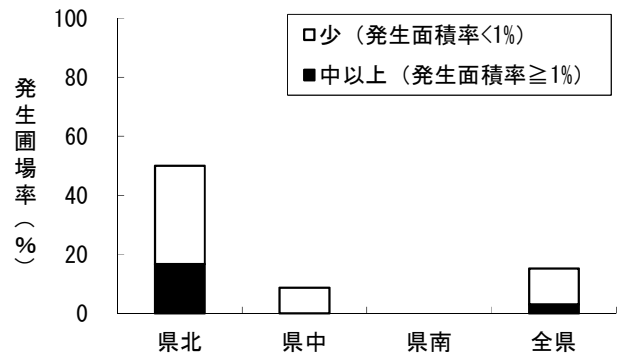


図2 雪腐病の地域別発生圃場率  
(3月～4月上旬)

## 2 萎縮病類

- (1) 3月～4月上旬の巡回調査では、ナンブコムギで発生が見られたが、発生圃場率、程度ともに平年より低かった（図3）。

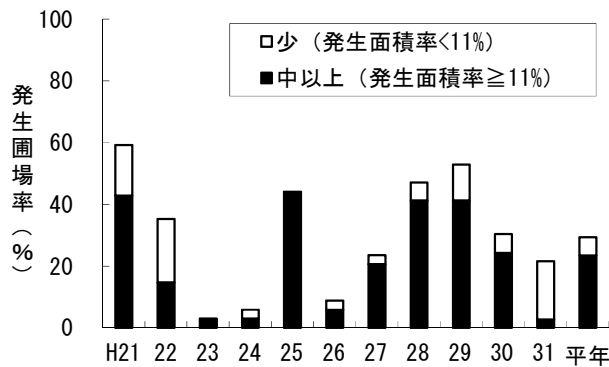


図3 萎縮病類の発生圃場率の年次推移  
(3月～4月上旬)

## 3 ムギダニ

- (1) 巡回調査圃場では、確認されなかった。

# 農作物病害虫発生現況情報（4月） りんご編

## 1 モニリア病

- (1) 特定圃場（花巻市糠塚）では4月第4半旬現在、子実体は確認されていない（表1）。
- (2) 葉ぐされは、4月23日に確認された。このことから、感染時期は4月15日頃と推定される。
- (3) 葉ぐされの発生から孢子飛散時期は4月第3～5半旬と推定される（表2）。

表1 特定圃場（花巻市糠塚）における生育程度別子実体確認状況

調査地点	調査月日	生育程度別子実体数※				計
		I	II	III	IV	
県中部	4/16	0	0	0	0	0
	4/18	0	0	0	0	0

表2 りんごの生育と孢子飛散時期の推定

年次	りんごの生育 (月/日) ※1			孢子飛散推定時期 (月-半旬) ※2			
	発芽日	展葉日	開花始	県中南部			
				—	—	—	～
H26	4/3	4/14	5/5	—	—	—	～
27	3/30	4/6	4/28	4	—	3	～ 4
28	3/30	4/8	5/1	4	—	3	～ 5
29	4/7	4/17	5/6	4	—	3	～ 5
30	4/1	4/9	5/6	4	—	4	～ 5
<b>本年</b>	<b>4/5</b>	<b>4/15</b>	—	<b>4</b>	—	<b>3</b>	<b>～ 5</b>
平年	4/7	4/16	5/6	4	—	3	～ 5

※1 岩手県農業研究センター（北上市）のふじ（おい性樹）

※2 本年の孢子飛散時期は、葉ぐされの初発時期から、他の年次は子実体の生育状況から推定

## 2 腐らん病

- (1) 4月後半の巡回調査における発生園地率は、平年より低かった。（図1）。
- (2) 地域別では、県中部での発生園地率は平年並であった（図2）。

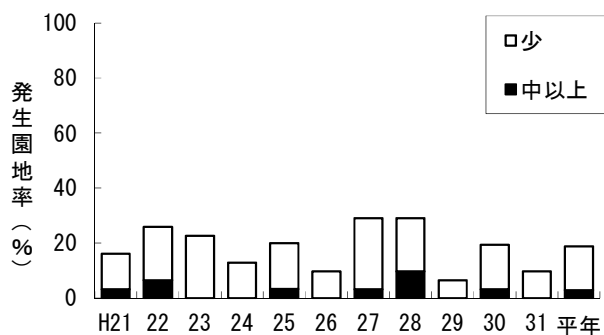


図1 腐らん病の発生園地率の年次推移（4月後半）

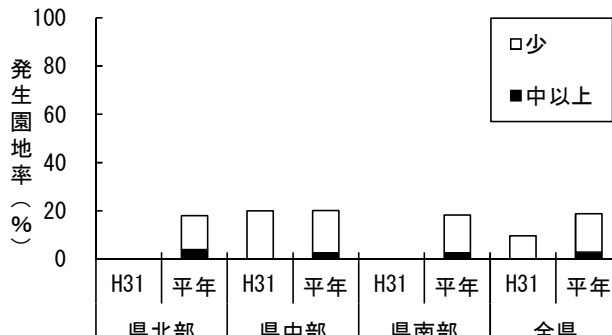


図2 腐らん病の地域別発生園地率（4月後半）

### 3 リンゴハダニ

(1) 3月下旬から4月上旬の巡回調査における越冬卵の寄生園地率は、概ね平年並であった(図3)。

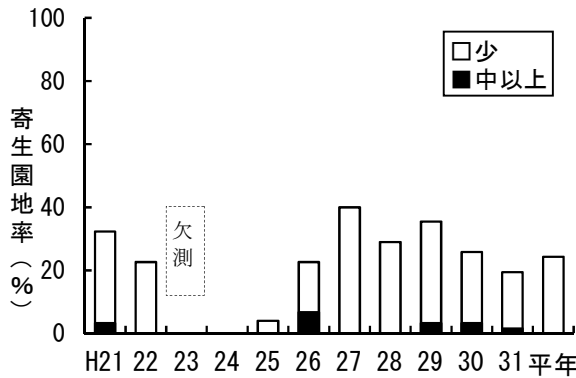


図3 リンゴハダニ越冬卵の寄生園地率の年次推移 (3月下旬～4月上旬、短果枝)

### 4 ナミハダニ

(1) 4月後半の巡回調査における花叢葉の発生園地率は、平年並であった(図4)。

(2) 一方、下草では平年より低かったものの発生程度中以上の割合は平年並であった(図5)。

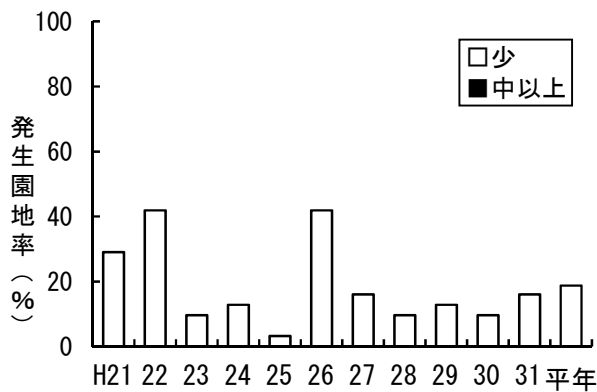


図4 ナミハダニの発生園地率の年次推移 (4月後半、花叢葉)

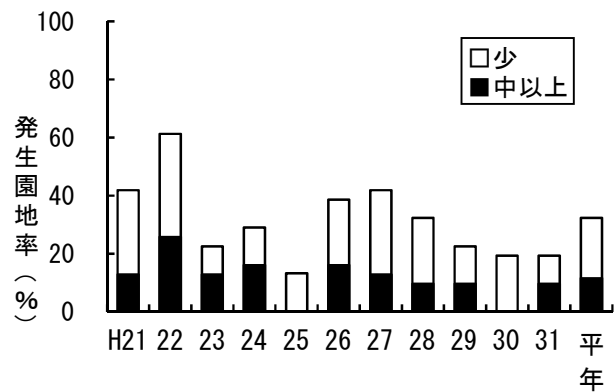


図5 ナミハダニの発生園地率の年次推移 (4月後半、下草)

### 5 ハマキムシ類

(1) 4月後半の巡回調査では、発生は確認されなかった(図6)。

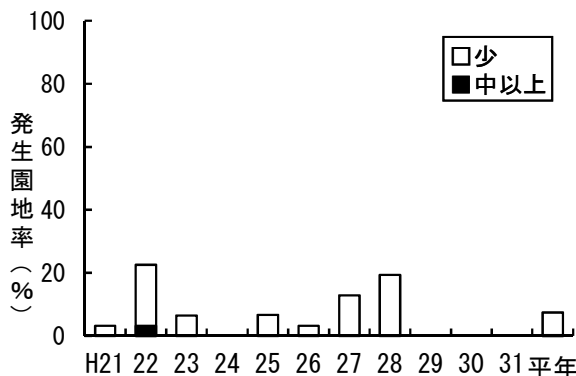


図6 ハマキムシ類の発生園地率の年次推移 (4月後半)

## 6 アブラムシ類

(1) 3月下旬から4月上旬の巡回調査での越冬卵の寄生園地率は平年並で(図7)、4月後半の巡回調査における発生園地率は平年より高かった(図8)。

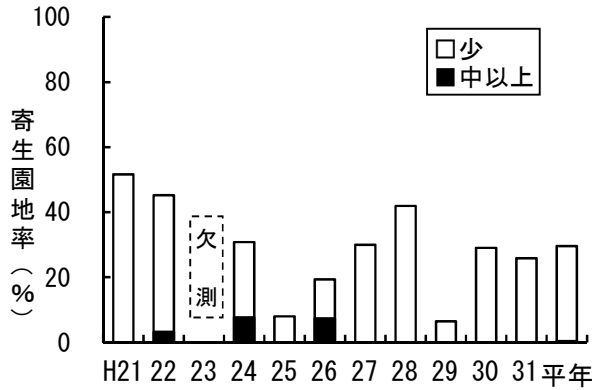


図7 アブラムシ類の寄生園地率の年次推移  
(3月下旬～4月上旬、越冬卵)

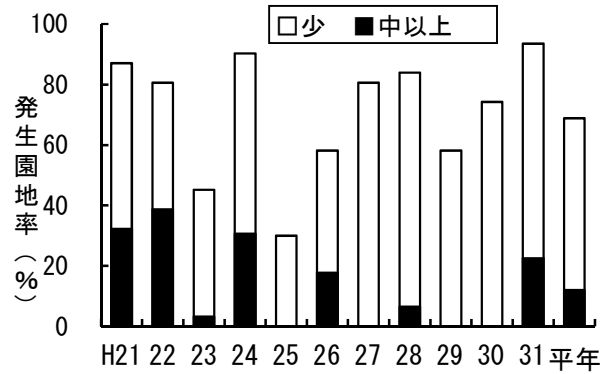


図8 アブラムシ類の発生園地率の年次推移  
(4月後半)

## 7 果樹カメムシ類

(1) 作業小屋等に設置した簡易トラップによるクサギカメムシの越冬量は、盛岡市川目では平年より多く、金ケ崎町六原では概ね平年並であった(図9)。

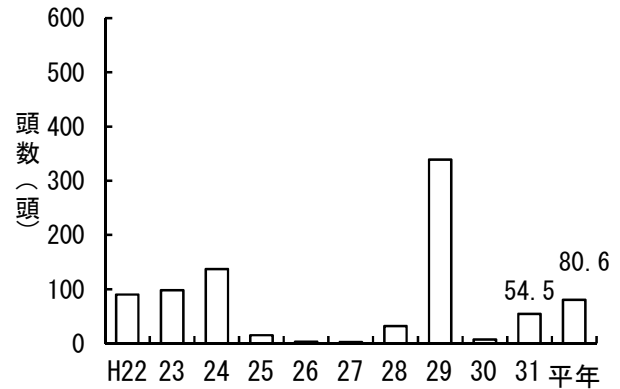
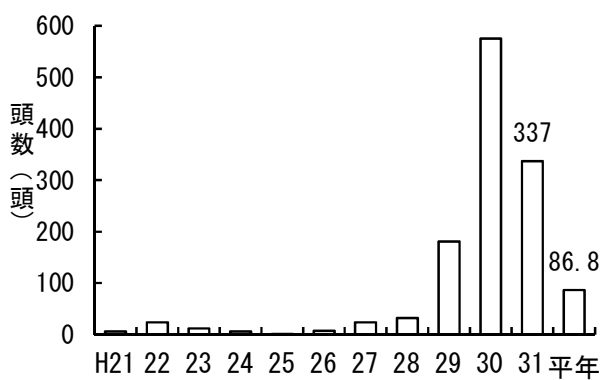


図9 クサギカメムシ越冬量の年次推移(左:盛岡市川目、右:金ケ崎町六原、簡易トラップ)

※簡易トラップは、りんご木箱に新聞紙を重ねて詰め込み、園地内にある作業小屋の軒下等に10月から2月中旬まで設置した。

※平年値は、盛岡は過去10年の平均値、金ケ崎町は過去9年の平均値。

※金ケ崎町は2反復の平均値、ただしH24年は反復なしの値。

# 農作物病害虫発生現況情報（4月）キャベツ編

## 1 コナガ

(1) 北上市でのフェロモントラップによるコナガの誘殺は、4月第3半旬から認められた（図1）。

(2) 一方、軽米町では、4月第4半旬現在誘殺は認められていない（図2）。

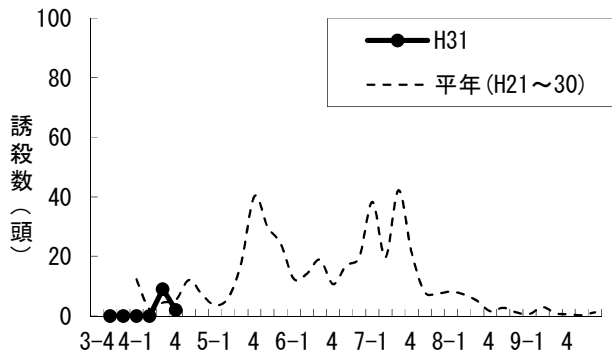


図1 北上市におけるコナガの誘殺状況  
※トラップ設置日：平成31年3月22日

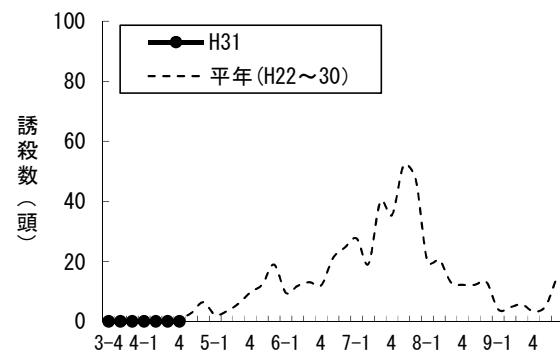


図2 軽米町におけるコナガの誘殺状況  
※トラップ設置日：平成31年3月15日

平成31年度

発表日：平成31年4月24日

# 農作物病害虫発生現況情報（4月） ねぎ編

岩手県病害虫防除所

## 1 ネギコガ

(1) 特定圃場（花巻市山の神）における第1世代幼虫のふ化は、平年より早い4月第4半旬に確認された（表1）。

表1 越冬ねぎ圃場におけるネギコガ第1世代幼虫のふ化（被害葉）確認日

年次	確認日
H21	5月2日
H22	5月6日
H23	5月12日
H24	5月1日
H25	5月13日
H26	5月2日
H27	4月20日
H28	4月15日
H29	4月20日
H30	4月20日
H31	4月19日
平年	4月29日

※H21～29：農業研究センター内圃場（北上市）  
H30、31：特定圃場（花巻市）における調査